

I 実施概要

教職員のシステムに対する受け止め等を把握し、今後のより一層のシステムの充実・改善に活用。

- 実施期間 令和6年8月1日～30日（Webアンケート）
- 対象者・回答率 評価者（二次評価者）（府立・市町村立：校長・准校長全員、市町村教育長） 90.1%（1,014人/1,126人）
被評価者（府立：全員、市町村立：無作為抽出） 68.6%（12,903人/18,812人）

II 集計結果・分析

※被評価者の回答者について、府立は新採を除く全員、市町村立は無作為抽出であるため、別で集計して記載しています。

1 自己申告票

- 仕事の成果の把握や目標の達成に向けて取り組むことに「役立っている」
⇒ 評価者：81.1% 被評価者：53.0%（小・中）37.5%（高・支）

➤ 評価者と被評価者の認識に乖離。被評価者が活用できるよう改善が必要。

2 授業アンケート H25年度導入

- 結果を「授業展開の見直し」「教材の工夫・改善」「児童・生徒理解」の改善につなげる割合が多い。
- 自由記述で、「結果のフィードバックがないため、改善につながらない」という意見もみられた。
- 保護者が回答することとなっている小学校・義務教育学校（前期）は、半数以上で「児童に直接回答を求める・学年によって児童に直接回答を求める（計56.9%）」を選択。

- 授業アンケート結果を適切にフィードバックする仕組み（小・中・支）の検討が必要。
- 小学校・義務教育学校（前期）の回答者について、再度の検討が必要。

3 面談

- 教職員の意欲・資質能力の向上等に「つながっている」
⇒ 評価者：87.9% 被評価者：68.8%（小・中）47.8%（高・支）
- 面談に期待することは「今後伸ばすべき点や職務に関するアドバイスの充実」が最も多い。

- 評価者と被評価者の認識に乖離。評価者が被評価者のニーズを把握して面談できるよう研修や情報共有が必要。

4 評価方法

- 公平性・客観性・透明性を高めるためには、「評価基準をより分かりやすくする」が最も多い。
⇒ 評価者：57.5% 被評価者：57.8%（小・中）51.6%（高・支）

➤ 評価基準のより一層の明確化が必要。

5 校長・准校長の学校運営に関するシート *教頭のシートも同傾向

- シートの提出方法は、「普段から意見を伝えているため、必要性を感じない（小・中39.5% 高・支32.7%）」、「提出方法を改善してほしい（小・中38.5% 高・支33.9%）」が多い。
- 自由記述の意見では、被評価者は一層の匿名性を求める一方、評価者は意図の確認等のため記名を求める傾向。

➤ 提出方法等について検討が必要。

6 システム全体

- 学校目標の共有に「つながっている」
⇒ 評価者：79.9% 被評価者：51.2%（小・中）36.6%（高・支）
- 意欲・資質能力の向上に「つながっている」
⇒ 評価者：70.0% 被評価者：48.3%（小・中）33.2%（高・支）
- 教育活動等の充実及び学校の活性化に「つながっている」
⇒ 評価者：61.3% 被評価者：40.8%（小・中）27.9%（高・支）

➤ 評価者と被評価者の認識に乖離。被評価者へシステムの趣旨や仕組み等の理解促進を図ることが必要。

7 給与反映

- 評価の区分によって「給与差を設けることは適当」
⇒ 評価者：65.5% 被評価者：69.6%（小・中）62.2%（高・支）
- 意欲や資質能力の向上に「つながっている」
⇒ 評価者：55.9% 被評価者：56.1%（小・中）45.7%（高・支）
- 評価結果の給与反映が、「意欲向上につながった」と「意欲が低下した」
⇒ 「意欲向上」評価者：42.1% 被評価者：40.8%（小・中）28.8%（高・支）
「意欲低下」評価者：14.2% 被評価者：11.6%（小・中）16.0%（高・支）
- 評価結果の給与反映は、「現状のままでよい」が最も多い。
⇒ 評価者：44.5% 被評価者：50.8%（小・中）43.0%（高・支）

➤ 給与反映に肯定的な回答も、公平・公正な評価が前提であることから、より一層、意欲・資質能力の向上につながると実感をもてるシステムにする必要がある。

III 今後の方向性と改善策

システムや面談に対する評価者と被評価者との認識の乖離への対応や「自己申告票」「授業アンケート」「学校運営に関するシート」等の運用方法など、今後、段階的に改善を検討する。

- ① 自己申告票について
 - ・設定目標の優先順位の記載、各職種の業務実態に応じた評価区分等の検討
- ② 授業アンケートについて
 - ・授業アンケート結果をフィードバックする仕組み、授業アンケートの回答者（小学校・義務教育学校（前期））、アンケート内容の検討
- ③ 面談について
 - ・評価者が被評価者のニーズを把握して面談できるよう研修等による情報共有の検討
- ④ 評価基準のより一層の明確化に向けて
 - ・経験年数等による基準の明確化、職階や役割などを考慮した評価方法、管理職以外からの評価等の検討
- ⑤ 学校運営に関するシートについて
 - ・提出方法、シートの趣旨が被評価者に伝わるような周知、シートの内容、活用方法等の検討
- ⑥ 被評価者の理解促進に向けて
 - ・制度の趣旨や目的、システム全体の仕組みや具体的な取組みについて、被評価者向け研修実施等の検討